

# 検査値の見方、考え方

(★) メタボリックシンドロームの診断に関わる検査

## 身体測定

### BMI

BMI = 体重 (kg) / 身長 (m)<sup>2</sup> 肥満度を判定します。18.5未満を低体重、25以上が肥満です。

### 標準体重

標準体重 = 身長 (m) × 身長 (m) × 22

### 腹囲 ★

臍の位置で測定し、男性は85cm以上、女性は90cm以上が内臓脂肪型肥満です。

## 血圧

### 血圧 ★

正常高値でも他の異常値を伴う場合、(糖尿病・腎症など)は受診が必要です。



## 血液一般

### 白血球数

感染症、炎症性疾患、血液疾患などで増減します。喫煙で増加することもあります。

### 赤血球数

#### ヘマトクリット・ヘモグロビン

貧血、多血症で増減します。貧血は食事の偏りや、胃腸からの出血、婦人科疾患、腎臓病、肝臓病などで認められます。

## 血小板数

血液を固める機能を持つため、低下すると出血しやすくなり、増加すると血栓症を起こすことがあります。血液疾患、肝疾患が主な原因です。

## 血清

### CRP（C反応性蛋白）

炎症性疾患(感染症や膠原病など)で0.31以上となります。

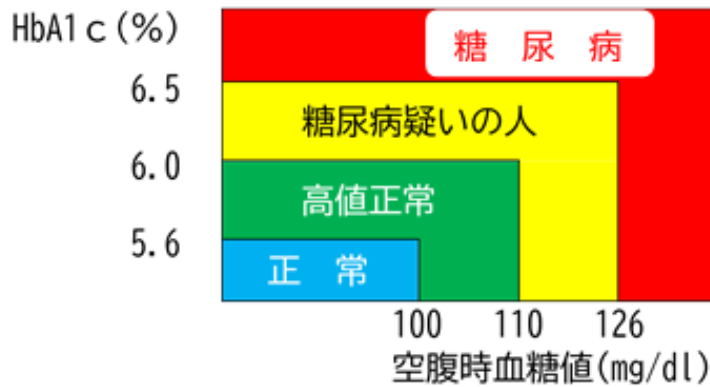
## 糖代謝

### 血糖★

#### HbA1c（ヘムoglobin A1c）（NGSP値）★

血糖（値）は食事の時間や内容により変動します。  
空腹時血糖が高いと糖尿病が疑われます。

HbA1cは過去1-2か月の平均血糖値を反映します。



### 尿糖

血糖値があるレベル以上になると尿中に糖が出ますが、腎性糖尿（糖尿病ではない）の場合もあります。

## 脂質代謝

### LDLコレステロール

動脈硬化に関係し、高値では虚血性心疾患のリスクが高まります。  
低値では栄養不良、甲状腺疾患、肝疾患などが疑われます。

### HDLコレステロール★

動脈硬化の予防的役割を果たすため、低値では虚血性心疾患のリスクが高まります。喫煙で低下することもあります。

### 中性脂肪★

高値になるとLDLコレステロールに影響し動脈硬化を進めます。高度高値では急性膵炎を合併することもあります。食事の時間や内容、運動により変動します。

### 総蛋白

高値では、脱水症、慢性炎症、低値では高度の肝障害、腎障害、栄養不良が疑われます。

### AST (GOT)・ALT (GPT)

主に肝細胞の障害に伴い増加します。AST (GOT) は筋肉の炎症、心筋梗塞で高くなることもあります。

### LDH

肝疾患、筋肉疾患、心筋梗塞、血液疾患などで増加します。

### 総・直ビリルビン

肝臓・胆道で胆汁がうっ滞すると増加します。体質で高い場合もあります。

### アルカリフォスファターゼ

胆石や胆道・胆管の閉塞で増加します。骨や血液の疾患で増加することもあります。

### γ-GTP

アルコール摂取、肝機能障害、脂肪肝、薬剤でも増加します。

### コリンエステラーゼ

脂肪肝や糖尿病で増加し、肝機能障害、栄養不良で低下することがあります。

### 尿ウロビリノーゲン

陽性のとき肝・胆道疾患が疑われます。

### HBs抗原

現在B型肝炎ウイルスに感染していると陽性になります。

### HCV抗体

過去にC型肝炎ウイルスに感染していたか、現在感染していると陽性になります。

### 血清アミラーゼ

膵炎や唾液腺疾患、慢性腎不全などで増加します。体質的に高い場合もあります。

## 尿

### 尿蛋白

陽性が続く場合は尿路(腎臓から膀胱)疾患(腎炎、ネフローゼ症候群、尿路感染症など)が疑われます。発熱や運動後、一時的に陽性になることがあります。

### 尿潜血

尿中に血液が多く混入すると陽性になり、腎炎、腎・尿管結石、腫瘍、前立腺疾患が疑われます。激しい運動後に陽性になることもあります。

## 腎機能

### 尿素窒素

### クレアチニン

蛋白質の老廃物で、腎臓の排泄機能が低下すると増加します。尿素窒素は激しい運動、脱水で高くなることもあります。

### 尿酸

肥満、肉やアルコールの過剰摂取で増加しますが、激しい運動、脱水、遺伝的に高くなることもあります。高値が続くと痛風、腎機能障害の原因となります。

### eGFR

腎機能を表す指標の1つです。生活習慣病は慢性腎臓病と関連があるため、早期診断の目安となります。

## 大腸

### 便潜血(ラテックス凝集法)

大腸がんのスクリーニング検査ですが、出血のないがんは陽性になりません。便中の微量な出血を検出するため、痔核、大腸ポリープ、大腸炎で陽性になることもあります。

## 前立腺

### PSA

前立腺がんのスクリーニング検査です。前立腺から放出される蛋白質を検出するため、前立腺肥大、前立腺炎でも高くなるがありますが、基準値を超えた場合は泌尿器科での精密検査が必要です。

## 聴力検査

低音(1000Hz)と高音(4000Hz)が聞こえるか調べます。加齢により高音から低下していきます。急激な低下は耳鼻科での精密検査が必要です。

## 心電図検査

心臓からの微量電流を記録し、その波形から心臓の働きを調べます。不整脈、心肥大、狭心症、心筋梗塞などがわかります。

## 胸部X線検査

肺の状態や心臓の大きさ、大動脈の形態、脊椎を調べます。呼吸器疾患(肺炎、肺気腫、肺がん、結核など)や心肥大、動脈硬化などがわかります。

## 胃部X線検査

発泡剤とバリウムを飲み、食道、胃、十二指腸を調べます。ポリープ、炎症、潰瘍、がんなどがわかります。

## 腹部超音波検査

超音波で肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓などの形態を調べます。脂肪肝、嚢胞、ポリープ、結石、血管腫(良性)、がんなどがわかります。

## 視力

裸眼または矯正（眼鏡・コンタクト）視力を測定します。

## 眼底

網膜を撮影し、血管、視神経の状態を調べます。高血圧、糖尿病による血管への影響をみます。

## 眼圧

眼に空気を当て弾力を調べます。高いと緑内障が疑われるため、眼科での精密検査が必要です。

## ピロリ菌抗体検査

ピロリ菌は慢性胃炎、胃十二指腸潰瘍、胃がんなどを引き起こす原因となります。

血液中の抗体を測定しピロリ菌感染の有無を調べます。除菌後の場合陽性となることがあります。